

北海道福祉大学校

和顔愛語

「朝食は王様ののごとく、昼食は貧者ののごとく」、欧米に古くから伝わる生活の知恵だ。朝食の主な役割は、昼食までの活動を支えるエネルギー源を供給すること。特に脳には、朝食の糖分によるエネルギー供給は欠かせない。朝食をおいしく摂るコツは、翌日の朝食まで7〜9時間は食事を控えること。胃は目よりも30分程遅く目覚めるので、起床から朝食までの時間をあけることも大切。ご飯に味噌汁、海苔に生卵、納豆の日本旅館の定番朝食が合格だ。

『校舎の改築工事が終わって』 副校長 小川博子

学校では夏休み（8月10日〜24日）が終了し、前期の終盤に入ったところで懸念された新型インフルエンザへの感染が一人出ましたが、学生への感染予防指導の徹底もあり、後期に入った現在までにそれ以上の感染がないことは幸いなことと思っております。

さて今年度、兼ねてより計画・ご連絡をしておりました当校南3条校舎の改築工事が、皆様のご理解と学生の協力も



新しくなった図書室と小川副校長

が課題であり、教育への方針にもつながっています。このような中でさらに学術的理論を確立してきているリハビリテーション大学校との交流を今後身近にできることは、学問的体系を活用する上においても学生たちにとって有益になるだろうと考えられます。

福祉に関わる専門職の教育は、個々人の尊厳を強く意識し、個々人の価値観をともに守り、寄り添い、支え合うという関係性において相互に成長し、よりよく生きていくことの必要性を客観的に実証できる科学であるともいわれています。

得て、この夏休み期間に無事終了いたしました。この場をお借りしましてご報告させていただきます。この改築は平成22年4月から現在中沼地区に設置されている北海道リハビリテーション大学の南3条校舎への移設に伴い実施されたものでありますが、折りしも平成19年度「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正があり、それに引き続き今年度（平成21年）4月から教育カリキュラムの内容が改訂され、当校においても新カリキュラムとしてスタートしたところです。この教育内容の詳細は別として、今回の改築との関連において今以上に重要な点を見出せるようここで少し述べておきたいと思えます。この新カリキュラムの特徴の中には「対象とされる全ての利用者の日常生活を中心とした自立を支える基本的視点」を多くの職種との連携や、社会参加といった関連性の中で展開が求められており、福祉に関わる専門職を養成する当校においては常に職業人としての専門性を高める実践を繰り返しながら、根拠に基づいた振り返りを考究し、目標を達成していくこと

生涯にわたり進化し続ける福祉専門教育のためにもこの改築が、その一歩となることを心から期待しております。工事に際して南3条校舎はとも恵まれた立地条件ではありませんが、限られた敷地面積と予算の中で本年2月から工事の準備を進め、様々なやりとりのなかで、常に未来の学生たちが活躍する姿を描きながら、よき学習の場となるよう関係者一同が意識しあい、協力を惜しむことなく終了できたことは感謝に尽くせないところです。今後におきましても多くの皆様の暖かなご指導と、ご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

ねりんピック ボランティア

9月5〜8日まで全道各地で開催された『ねりんピック』において、5日の札幌ドームで行われた総合開会式のボランティアに介護・社会福祉学科全員で参加してきました。

教科書完成！

今回、本校の教員と協力執筆者の尽力により、9月15日に発刊されましたので、ご紹介させて頂きます。この教科書を通して、ご利用者への理解を深め、より良い介護の実践に繋げる事ができるような学びをして欲しいと私達教員一同は望んでいます。



ねりんピックは、昭和63年より各都道府県が持ち回りで行われてきた総合的な祭典です。種目は卓球、剣道、サッカー、ソフトボール、マラソン、水泳、ペタンク、囲碁、将棋、俳句など多彩にわたるものがありました。

22年春、 2つ目の保育園が開園



西区八軒の「吉田学園さくら保育園」に続き、来春（仮称）「吉田学園くりの木保育園」が中央区桑園に開園します。JR桑園駅から徒歩5分という好立地で定員120人。札幌市としても久しぶりの中央区の新設保育園ということで喜んでいただくとのこと、また学園としても札幌市の待機児童解消の一助となれることを嬉しく思います。この2つの保育園では実習は勿論のこと、授業の一環として保育経験を積むことができます。子供達と直接触れ合うことで、教科書では学べない、マニュアル通りにはいかない、本物の経験ができるのです。本校が掲げる実践教育の中心として、この2つの保育園と連携し、現場が必要とする即戦力になる保育士の養成に今後も励んでいきます。



学生は黄緑のお揃いのジャンパーで、参加者の受付や誘導、アンケートなどを担当しました。最初は戸惑いもありましたが、北海道や札幌市の職員の方達と共に行動しながら対応方法を覚え、すぐに慣れた様子でした。朝早くから夕方までの1日でしたが、福祉を学ぶ学生として、全国の元気な高齢者と触れ合うことで、施設等で暮らす要介護者とは違った交流を深め、47年1度という貴重な体験をしてきました。

『幼稚園教諭免許の取得に向けて頑張っています』

福祉保育学科

学科長 秋川 浩

福祉保育学科では幼稚園教諭2種免許取得を希望している学生を支援しています。コウノトリの野生復帰の取り組みで知られている兵庫県豊岡市に近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科があります。同短大は昭和42年に開学し、現在までに3万4千名以上の人材を社会に送り出しています。

1 近畿大学豊岡短期大学通信教育部との連携

保育士資格取得に必要な科目と幼稚園教諭免許取得に必要な科目は共通している分野が多く、幼稚園教諭2種の免許取得等には62単位が必要ですが、50単位程度は保育学科の科目と重複しているため、本校で学習する内容が近畿大学豊岡短期大学の科目の単位取得にそのまま活かされます。単位取得には本校の定期試験に加えてレポートの作成や調査があるので努力は必要となりますが、免許取得には有利なシステムと考えています。

2 学生の状況

科目編成上、本校の募集は1年生の入学時のみとしています。在学の期間は3年間ですが、卒業に必要な科目のほとんどは2年生までに履修するカリキュラムを組んでいます。3年生で履修する数科目は土・日曜日の集中講義で行われます。したがって介護福祉学科一年課程への進学、就職をしながら通信教育を受けることも可能となっています。平成21年度は保育学科入学者の約半数(20名)が免許取得を希望して挑戦しています。すでに前期のレポートを提出、学期末の調査も終えました。不慣れなレポートの作成には悪戦苦闘したようですが、文章を作成する力は社会で要求される大切な能力です。将来、役にたつ



行事予定

学園行事 11/4(水) 吉田学園大運動会

介護・社会福祉学科

- 10/7(水)~9(金) 社会2年 社会福祉主事行政実習
- 10/7(水)~11/11(水) 介護・社会1年・一年課程 介護施設実習
- 11/12(木)・13(金) 介護・社会1年・一年課程 実習報告会
- 11/22(日) 介護2年・一年課程 福祉住環境ｺｰﾃﾞｲﾝｸﾞ-検定試験
- 12/23(水)~1/14(木) 介護・社会 冬休み

福祉保育学科

- 10/1(木)~15(木) 2年 施設実習
- 10/7(水) 1年 円山動物園遠足
- 10/14(水) 1年 幼稚園見学
- 10/21(水) 1・2年 実習報告会
- 2年 テーブルマナー教室
- 10/28(水) 1・2年 ハート音楽院コンサート鑑賞
- 11/4・18(水) 2年 盲学校・道立福祉施設見学
- 11/11・12/2(水) 1年 養護学校・聾学校見学
- 12/16(水) 1・2年 クリスマスコンサート
- 12/21(月)~1/15(金) 1年冬休み
- 12/24(木)~1/15(金) 2年冬休み

精神保健福祉学科

- 9/28(月)~10/31(土) 昼間課程実習
- 9/28(月)~10/17(土) 夜間課程実習

良い経験になっていると誇っています。スタートしたばかりですが、次年度末には保育士資格を、3年後に幼稚園教諭や介護福祉士の資格を手にする学生が輩出していくことになりま。中には3つの資格を取得した学生がいるかも知れません。その日を楽しみに頑張りたいと願っています。



『新カリキュラムがスタート』

介護・社会福祉学科

学科長 野中 真由美

近年の社会福祉及び介護を取り巻く環境の変化を踏まえ、社会福祉士及び介護福祉士の変化の確保及び向上並びに社会福祉士の活用場の充実を図るため、資格の定義規定、資格の取得方法の見直し等を内容として、平成19年に「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正が行われました。

また、この法律改正と併せて、社会福祉及び介護を取り巻く環境の変化と社会福祉士及び介護福祉士が求められる役割を踏まえ、社会福祉士及び介護福祉士の資格を取得する者が履修すべき教育内容の見直しが行われ、平成21年度の入学生から新カリキュラムでの養成教育が始まりました。

社会福祉士の養成課程においては、社会的援助のニーズが増大している状況下で、国民の福祉ニーズに応じて求められる役割を適切に果たしていくことができるような知識及び技術が身につけられるようにすること、介護福祉士の養成課程においては、「求められる介護福祉士像」の基本的能力を身につけられるようにすることを目標としています。また、両課程に共通して必要とされる基礎的知識は勿論のこと、より専門的な知識を身

につけること、援助を必要としている人々が社会及び日常生活面で「人間としての尊厳」を確保し、「自立」していくことができるように包括的かつ総合的に支援のできる実践力の高い福祉の専門職の育成を図ることを目標としています。

これらのことを踏まえ、私達教員に課された役割及び責任は非常に大きいものであると感じています。新カリキュラムでの教育への取り組みはまだ始まったばかりで、課題とされることも多くありますが、教員間での連携を深め、必要とされる様々な知識を統合して一つの実践に繋げていく、実践的レベルでプロセスを考えていくことができる教育を目指していきたいと思ひます。また、現在の風潮として介護はマイナスイメージが強いようにも思われますが、決してそうではなく、いま正に社会から求められている誇りを持った仕事であること、その存在意義を学生ひとり一人が認識し、学習に取り組んでいけるような教育が実践できるように努力していきたいと思ひます。



求められる介護福祉士像

(厚生労働省社会保障審議会福祉部会)

1. 尊厳を支えるケアの実践
2. 現場で必要とされる実践的能力
3. 自立支援を重視し、これからの介護ニーズ、政策にも対応できる
4. 施設・地域(在宅)を通じた汎用性のある能力
5. 心理的・社会的支援の重視
6. 予防からリハビリテーション、看取りまで、利用者の状態の変化に対応できる
7. 他職種協働によるチームケア
8. 一人でも基本的な対応ができる
9. 「個別ケア」の実践
10. 利用者・家族、チームに対するコミュニケーション能力や的確な記録・記述力
11. 関連領域の基本的な理解
12. 高い倫理性の保持

編集後記

総務省は9月20日、「敬老の日」にちなんで15日現在の65歳以上の高齢者の推計人口を発表した。高齢者人口は昨年比80万人増の2898万人、総人口に占める割合は昨年比0.6ポイント増の22.7%となり、いずれも最高を記録した。団塊の世代が75歳以上を迎える2025年には、介護職員が30万、40万人以上不足すると叫ばれて久しい。10月は、3学科それぞれが30万、40万人以上不足する。北海道、そして日本の福祉が崩壊しないよう、人材の育成に邁進しなければならぬと決意を新たにす

る発表であった。(岩)

発行元 専門学校北海道福祉大学校 広報委員会
札幌市中央区南3条西1丁目15番地
011-272-6085
<http://www.yoshida-fukushi.jp>